

# 青い空・白い雲

2015年 1号

長野県手をつなぐ育成会ニュース  
2015年8月発行  
発行者 長野県手をつなぐ育成会  
会長 中村 彰  
380-0928  
長野市若里7-1-7  
長野県社会福祉総合センター5F  
TEL 026-227-6811  
Fax 026-227-6836

## 平成27年第52回県大会 佐久市交流文化館

平成27年7月4日(土)

参加者総数414名 (内来賓17名 表彰者5名 講師1名 パネラー4名)

報告責任者：佐久市手をつなぐ育成会会長 木内喜美江

中村会長、柳田清二佐久市長の挨拶のあと、多くの会員が見守る中での永年勤務者等の表彰式、ご来賓である衆議院議員木内均氏、井出庸生氏、県議代表今井正子氏からの祝辞をいただき午前の部の宮下智氏の講演会に入りました。(本人会も隣接の柔剣道場に会場を移しスタート！)



今年の大会スローガンは

- ①育成会の役割とその意義を認識しよう。
- ②高齢知的障がい者を取り巻く仕組みをよく知ろう。
- ③みんなが暮らす地域社会から障がい者差別を無くそう。

今年度は特に2つ目の高齢者問題に取り組みましようといふことが進められました。

明星学園総園長の宮下智氏の講演「高齢知的障がい者を取り巻く問題」では、ご本人が永年体験された中から看取りの注意点、死の受け止め方、安心の場の確認等の話がありました。特に大切な事は本人がどうしたいのかという事、何かを決める時本人の意思を確認し、それを実現する事の大切さを力説されました。親亡き後の本人の生活を誰にどのように託していったら良いのか考えさせられました。

昼の時間には、佐久市で障がい者のバイオリン教育を24年間続けられている山口音楽教育センターのコンサートがありました。それぞれが正装し晴れ舞台で緊張し頑張ってくれました。成果の見られる、とても素敵なコンサートに大きな拍手がわきました。

午後は中村会長の司会でパネルディスカッションが行われました。パネラーの樋口氏からはそれぞれの市町村や自立支援協議会で頑張っている事、宮下氏からは各法人や事業所の枠を越えて本人中心の個別支援計画が進められる事、金川氏からは成年後見人としてのかかわりの中から、例として母親が認知症となり娘夫婦共に障がい者の家族が家庭崩壊寸前の状態から3人が満足して暮らしていけるようになった過程を。石川氏からは郡育成会会長として色々かかわってきたが、支援

の中に愛のある事が必要、また、若いうちから地域で暮らす経験を積み重ねる事が大事と強調されました。最後にアピール文

「子供の豊かな人生の実現のために1、豊かな老後の実現。2、共生社会の実現。3、一層の活動推進」を宣言し、会が盛大な拍手の中で終わりました。

参加パネリスト 樋口 忠幸 氏（長野県健康福祉部障がい者支援課 障がい福祉幹）  
金川 優子 氏（一般社団法人 後見ネットあいあい代表理事）  
石川 武 氏（佐久穂町手をつなぐ育成会 会長）



←山口音楽教育センターの皆さんによる演奏会  
大会に華を添えてくださいました

大会にご参加くださった皆様、ありがとうございました。  
事務局 一同

本人集会の様子です。↓



←それぞれの  
ブースで  
軽スポーツ  
を楽しみま  
した。  
気持ちの良  
い汗をかき  
ました。  
今年も北陸  
コココーラ  
ボトリング  
さんから沢  
山の飲料水  
をご寄附い  
ただきまし  
た。感謝！！  
←チャレン  
ジ役員会で  
す。  
県大会の役  
割分担につ  
いて話し合  
いました。

# 平成27年度長野県手をつなぐ育成会総会報告

平成27年5月16日(土)

麻績交流センター

参加 代議員 35人 委任状 11人

平成26年度 事業報告・会計決算報告 承認

平成27年度 事業計画・会計予算 承認

この度の総会の大きな論点は会費改め「負担金」の計算方式でした。昨年度1年間かけて各ブロックより委員を選出し「会費検討委員会」を5回開催し検討した計算方式への意見が出されました。

それぞれの郡市町村会の活動資金財源の問題や負担金への人口割の考え方の多様性、構成する全ての育成会・親の会への公平なる算出方法への結論を見出すことには限界がある事を確認しました。また、高齢化し若い世代の親たちの加入が、進まない現状への解決策も見いだせず「長野県手をつなぐ育成会」としての在り様や、今後の目指すべき姿をも見据えた議論への必要性を感じました。

県大会でも確認した点でもありますが、今後の福祉政策の主人公は「本人」「家族」「居住地自治体」です。特に福祉サービス支給決定権を持つ市町村と各育成会・親の会とのかかわりは以前より増し親密であるべきです。大きな県単位の運動より、郡市会や協議会での活発な話し合いのなか地域での活動をより意識した「親の会」としての活動の産声を上げた頃の原点に返って活動を組み立てていく必要性を感じました。

県育成会の役割の一つとして、そういった地域の活動をいかにアシストできるかも大切な要点と考えます。

総会は代議員のみの出席にて討議されます。代議員以外の方々からも県育成会事務局は常に皆さまからの忌憚のないご意見をお待ちしています。

✉ [ikuseikai-nagano@cyber.ocn.ne.jp](mailto:ikuseikai-nagano@cyber.ocn.ne.jp)

## 負担金計算方式

会員数(4月の会員数) × 500円 + 人口(5月1日の人口) × 6/10  
(但 2, 3年後には見直しをする)

負担金に関してのご意見を随時募集しております。

ご意見のある方は事務局までお願いします。



## アンケートを取りました！！ 総会時のアンケートの結果を報告します。

① 県大会・研修会で聞きたい講演内容を教えてください。

- ・県内のグループホームの現状と実態(安曇野市)
- ・地域福祉の在り方 行政・健常者・障害者等まわりをとりまいている全ての人を対象とした形での研修会(岡谷市)
- ・一般就労を受けている企業と障害者の体験・グループホームについて(長野市)
- ・障がい者の人権侵害について(長野市)
- ・インクルーシブ教育の現状と課題・親の高齢化に伴う障がい者支援の選択肢(茅野市)

② 講師の希望

- ・県議会障がい担当委員会の議員(安曇野市)
- ・生活支援員あるいは、職業指導員等を交えてのトーク形式の研修会(岡谷市)

- ③ 県育成会の取り組みへの意見・要望がありましたらお書きください。  
 療育・教育 ・病院併設型の重度障がい者の居場所確保（岡谷市）  
 就労 ・就労支援施設の充実指導（岡谷市）  
 高齢知的障害者支援 ・家族を含めた支援が必要（岡谷市）（東筑摩）
- ④ 地域で不足しているサービスをお書きください  
 ・緊急時利用できるショートステイ（上田市） ・グループホーム（安曇野市）  
 ・親の高齢化、障害者の重度化が多くなってきており、生活介護が必要なのに受け入れてくれるところが少ないGHも不足している、親と子で一緒に入れる施設が欲しい（岡谷市）  
 ・重度の障がい者はGHよりCHの方がよい（岡谷市） ・土日の移動支援（長野市）  
 ・休日の過ごし方に対する支援（茅野市）  
 ・通所事業所は本人の一般就労に向けて努力が足りないし本人の希望も受け入れてくれない（長野市）
- ⑤ 現在困っている事  
 ・会員数の減少（安曇野市）（岡谷市）（茅野市）  
 ・入所しているGHの職員の入れ替わりが激しい（長野市）  
 ・親の高齢化（茅野市）・・・それぞれの障がい者と家族が抱える課題が育成会として見えなくなっている
- ⑥ 県担当者との懇談会での要望事項  
 ・グループホームの充実（安曇野市） ・相談支援事業の報酬単価の改定（岡谷市）  
 ・受け入れ企業側の障がい者理解への研修会開催 ・医療の窓口無料化  
 ・一般就労を受け入れる企業の掘り起し（以上 長野市）  
 ・虐待の事例、事業所、家族（グレーゾーン）も含む（茅野市）
- ⑦ その他  
 ・発達障がい児・者の親との結びつきが希薄 障がいの分類、親の連携の分断となっている、どうすればいいのか（茅野市）  
 ・代議員の旅費・弁当代の見直しを要望する（駒ヶ根市）



#### 編集後記

夏本番となりました。集団台風の襲来や猛烈といった形容詞がつくほどの暑さの日々に「水の事故」や小型飛行機の墜落やら、思いもよらない惨事のニュースに加え、安全保障に関する大きな国の動きにも目が離せない状況です。  
 こころ穏やかに暮らせることを切に願いつつ我が子の将来とわが身の老いの心配も常に付きまとう中、いつまでも健やかでありたいと願う今日この頃です。

